

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年11月21日発行

発刊元：まつぎかわかみなと（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.12

この後の自分に“生かせる”ことを！ 実験的な視点をもってはじめましょう！

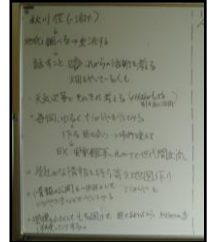
11月7日
昼コース

前回、前々回は全員での話し合いをしながら、今後の活動について、もやもや模索する時間であった。今回は、松田さんから、この講座で一番大切にしたいことの確認から始まった。それは、この講座の時間が終わったあとにも続く、みなさん一人ひとりの生活をより豊かなものにする。そのために何が必要かという...、例えばこれまで自分が取り組んだこともなかったことにちょっとチャレンジしてみるとか、グループ活動に取り組むとか、もしくは今後つながってみたい地域・場所・人とかかわりあえるようなことを模索してみるなど...、いわば「遊び感覚」をもって、いろんなことに取り組むこと。そんなアドバイスを松田さんよりいただいた後は、3~4人くらいの小さなグループになって、メンバーを変えながら話しあった。

それは、全員でものごとを決める、という前回までの話し合いの雰囲気とはまた違って、一人ひとりが目の前の人に向かって思いついたアイデアをどんどん出し合うような話し合い。そんな、とって活発な意見のやりとりのあとには、各グループで出てきたものをまとめ、今度は全体で共有。その中から、何を、どのようなスケジュールで実施できそうか、考えていく。今回は、今後の活動に期待と展望がもてそうな、ウキウキするような話し合いの様相を見ることができた。この「盛り上がり！」を大事にして、後半の活動に取り組もう！（川上）



小グループでの
自由な談義



たくさんのアイ
ディアが黒板へ

【話し合いの記録】

23.11.07

■これからどんなことをしていきたい？

- みなで秋川荘で合宿
地域を調べる⇒地域の人と交流する
その中でこれからの活動について考えては？
- 今後、この教室自体を毎回「だがしや楽校」的な空間
へ変化させてしまう！
それぞれが「わけっこ」できるものを持ち寄り、見せ
合う
⇒場所を変えて今度は開かれた空間で！
- 身近な情報を持ち寄り、マップづくり
- 大きなイベントをみんなで実施するのもよいが、それ
ぞれが興味のあることをできる人が、できるカタチで
実践していくのはどうか？

コラム 発想する！タ・ネ⑧

文部科学省主催 「全国生涯学習ネットワークフォーラム」で卒業生たちが活動報告

11月5、6日に文部科学省が実施した「全国生涯学習ネットワークフォーラム」において、大人塾09年の夜コース、10年の昼コースの卒業生有志が自分たちの活動の事例報告を行った。どちらも卒業後、継続的に仲間たちで集まり、さまざまな活動を展開しているが、このような形で外部へ「発信」することは、「自分たちの活動をふりかえってきちんと「言葉」にするよい機会となる」と発表者の一人が言っていた。なにかアクションを起こしているとき、忘れがちなのがふりかえり。しかし、この「ふりかえり」を行うことで、他の人に自分たちのやってきたことややりたいことをどう説明できるか、その言葉を紡ぐことができる。その「言葉」をもつかどうか、活動の広がりには欠かせないのかもしれない。ここに登壇した卒業生のみなさんは、自分の言葉で「大人塾」のこと、自分たちの活動のことやそこにこめていた思いを伝えていた。この発表で使用したポスターは、セシオン杉並1階奥団体交流室で展示中。興味があれば、ぜひご覧あれ！（記事：川上）



「ど真ん中の
今と昔に触
れた」
・NPO どこに
住んだらいい

目
次

ワークショッププログラム作成開始！ どんな体験を持ち帰ってみたいか？



ふるさと灯り祭りチーム

＜対象＞まつり、イベントを
作りたい人、井草地域の人、
特に大学生
＜提供する体験＞・イベント
の企画に参加できる ・灯り
を作る体験
・井草灯りまつりへの参加



シニア音楽交流チーム

＜対象＞シニア、カフェや音
楽に関心のある人
＜提供する体験＞・シニアカ
フェの情報提供
・あるべきシニアカフェの姿を
考える ・音楽・ゲームなど
によるリフレッシュ体操



コレクティブハウスチーム

＜対象＞一人暮らしの人、母
子・父子家庭、シニアなど
＜提供する体験＞・実際にコ
レクティブハウスに暮らして
いる人の話を聞く ・自分たち
で場を考えるキズナサロン



まちの物語チーム

＜対象＞杉並でお気に入りの
道を持っている人、まちの
再発見をしたい人
＜提供する体験＞・次に活動
へつなげるイメージをどうす
るか、課題検討中

今回はワークショップの詳細プログラムを決めていく。各グループに別れて、広石さんの「ワークショップ・プログラム開発シート」に沿って皆で進めていった。

考え方の順番は、まず「対象者」を決める。→その対象である参加者が、ワークショップ後にどんな風に考えたり行動するように「変化」してもらいたいかな？を挙げていく。ここをしっかりと押さえて置くことがポイント！これからチーム内で色々なアイデアや意見が出てくると、往々にして混乱することも。そのときにこの原点に戻ることが目的や方向を確認することができる、と広石さん。次に参加者にその「変化を起こすため」にどんな「体験」をしてもらうかを考えていく。

以上のことをチーム内で話し合い、その結果を発表しあった。それに関して広石さんからアドバイス、コメントもらった。これはひとつのチームにだけでなく、皆へ通じるアドバイスであった。たとえば、シニア音楽カフェへの、「まず体験してもらい、こんなカフェがあったらいいなあ」と話し合ってみるのもいいのでは」は、コレクティブハウスでめざす「共同の居間」作りにもつながるし、これをスタートとするワークショップにしよう！は、灯りまつりだけでなく、全チームにも言えることであろう。

これができたら、ワークショップの細かい内容を決めていく。①アイスブレイク＝ワークショップに自然に入っていける工夫がされた「導入プログラム」、②聞いたり、見たりするだけではだめ、(やってみる、作ってみる、相互作用)が入った「メインプログラム」、③最後に参加者に持ち帰ってもらうものに気づいてもらう「ふりかえりプログラム」を考えてみた。皆さん講座外でも集まって話し合いを重ねている様子。期待してます！（湊）

じゅくと 大人の塾に参加中の…イカした！大人たちに聞きました！

◆**今月の大人“塾”**

☀️ **柴田 淑恵さん 女**
①杉並区
②好き：人情にもろい
嫌い：おっちょこちょい
③地域の方々が交流できるような催し(食・音楽・子ども向け)を企画しています。

☀️ **石塚 治子さん 女**
①日本
②好き&嫌い：凝り性なところ
③Healthy nerd(健康オタク)

🌙 **樋口 智志さん 男**
①大阪府寝屋川市 ②好き：偏見なく人と接することができる 嫌い：計画性がない ③人の話を聞くことが好きなので、嬉しい事・悩み事など何でもぶつけてください！

🌙 **森賀 奈津子さん 女**
①愛媛県新居浜市 ②好き：フットワークの軽さ 嫌い：オロオロしているのが顔にでる ③芸術学を勉強しています。自分なりの地域との関わり方を模索中。皆様とたくさん共有させてください！

◆すぎなみ大人“塾”してる？の発行にあたって◆
この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。